# 家庭向け蓄電器 低価格化に成功

## 甲府のベンチャー企業

## 安価な鉛電池使用、停電時に威力

甲府市内のベンチャー企業が、従来品よりも低価格で購入できる家庭用蓄電池システムを開発した。高価なリチウムイオン蓄電池の代わりに鉛蓄電池を使用し、価格を6分の1程度に抑えることに成功。停電時には自動で切り替わり、家庭内の電気製品を引き続き使用できるといい、電力不足が想定される夏場に向け、注目を集めそうだ。

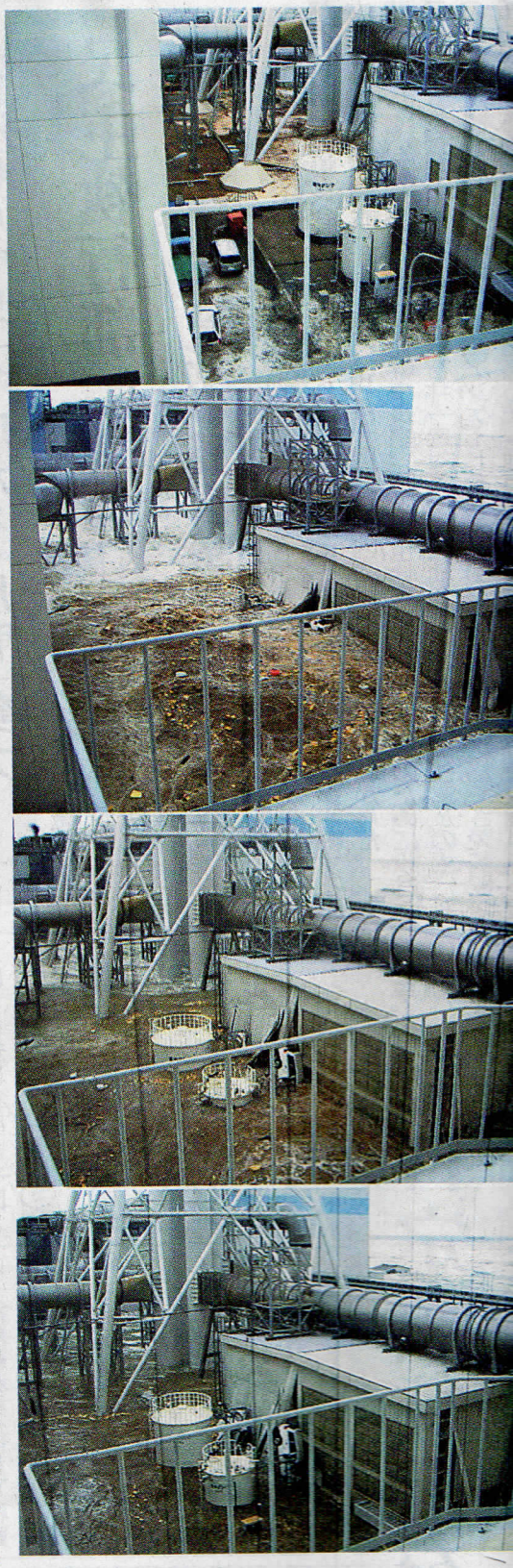
開発したのは、環境保全商品の販売を手掛ける「シナプテック」（甲府市大手1丁目、戸田達昭社長）と都内のグループ会社。家庭のコンセントやソーラー発電などにつなぎ、電気を交流から直流に変換して、外付けの鉛蓄電池に充電。放電時は直流から交流に変換する仕組みだ。

大手メーカーは小型軽量化が図れるリチウムイオン電池での商品化を進めているが、高額になるのがネック。鉛蓄電池は比較的、安価で製造できるものの、蓄電池が大型になるため、同社は蓄電池と操作部分を切り離し、小さいスペースでも設置できるようにした。

出力は1時間当たり1㌃と1・4㌃の2種類があり、電池容量は同1～5㌃を用意している。電池容量が1㌃の商品は7時間でフル充電となり、32型の液晶テレビが最大6時間使用できる。

オープン価格だが、電池容量1㌃につき15万円が目安。大手家電量販店が発売した家庭用のリチウムイオン蓄電池（約90万円）に比べると、価格は6分の1程度という。

戸田社長は「これだけの容量を備えた鉛蓄電池システムは初めてではないか。停電対策だけでなく、電力消費量の少ない夜間に蓄電することで、昼間の節電にもつながる」と話している。



ごろ水が押し寄せ始め、43分ごろには海面から約10㍍の敷地に設置した高さ5・5㍍の重油タンクが水没。水位低下後は、逆立ちするような格好で車が建物に引っ掛かっている。

東京電力福島第1原発の廃棄物処理施設4階から撮影された津波の状況。（上から）3月11日午後3時42分ごろから44分ごろ（東京電力提供）

## きょうの紙面

**東日本大震災**


- 「帰りたい。でも帰れない」県内避難者20人に思い聞く 23
- 原発と復興の担当相 首相が新設を表明 2
- 原発の安全設計指針「間違いあった」と見直しへ 3
- GDP年率3.7%減 日本経済に深刻な打撃 9
- 激減する外国人観光客 県がサイトで誘致作戦 24


3 ニュートンの質問箱

甲斐サーモンってどんな魚？

NIE-教育に新聞を

- 南アの貴金属強奪容疑で男5人逮捕 25
- 北杜でエコアート 21

- 中央市の58歳女性が県内2人目の精神対話士に 20
- 自社大豆で豆腐 製造販売 甲州の法人が6次産業化 6
- 「一命」の三池監督ら カンヌで会見 24

くらし 15

パパママ婚 関心高まる

## 雁坂トンネル 償還

国道140号の有料道路の通行量を大幅に下題で、山梨県は県道路公社に約子融資する方針金収入だけでは借入金償還額ず、2011年金不足が生じる子融資は初めて資金不足は12年とみており、膨らむ見通し